

丹生小学校学校評価だより（第1回）

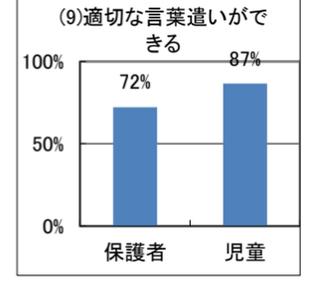
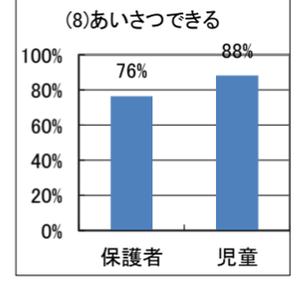
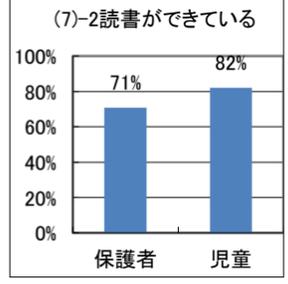
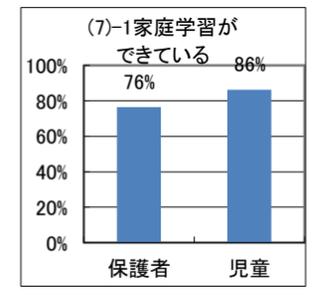
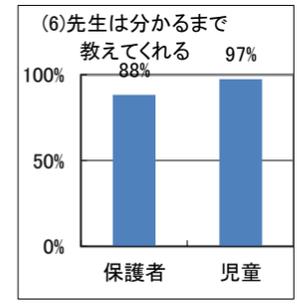
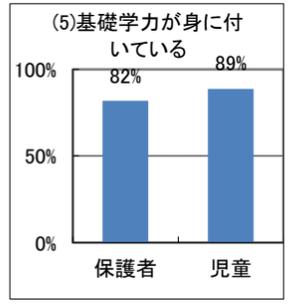
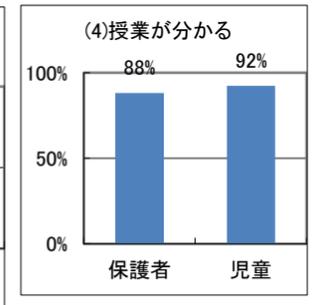
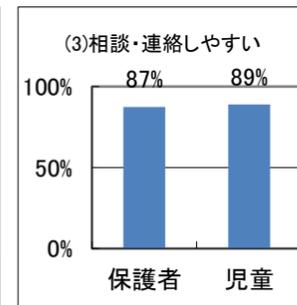
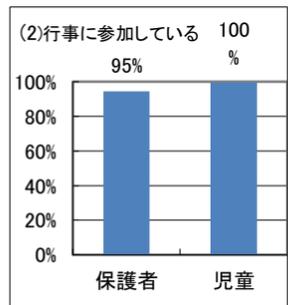
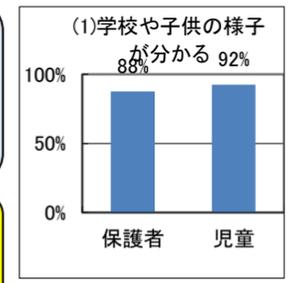
第1回学校評価アンケートの結果を報告します。

1学期に行った学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。
 学校では集計し、それぞれの項目について見直しを行いました。新たに改善策を設けたものと継続して行うものがありますが、アンケートの結果を受けて80%を切ったものを中心に力を入れていきます。ただ、学校だけでは解決できない課題も多くありますので、家庭・地域のご協力をいただきながら、三位一体となって丹生の子供たちを育てていければと思います。今後も学校運営にご理解ご協力をお願いいたします。

評価対象	羅	針	盤	具体的数値項目	方 策	アンケート			改善策
						保護者	児童	教員	
I 保護者との連携	保護者への情報提供	1	学校や児童の様子を保護者に伝え、理解を得ていますか。	(1) 「学校や子どもの様子が分かる」と80%以上の保護者が答えている。	○学校経営方針や学校の様子(学校行事や学年行事など)を知らせる方法を工夫する。	88%	92%	88%	・学校だよりやホームページに学校生活の様子も掲載する。
		2	保護者は学校の諸行事に参加していますか。	(2) 「学校の諸行事に参加している」と答える保護者が90%以上である。	○諸行事のねらいを明確にし、保護者への啓発や保護者が参加したくなるよう内容を改善していく。	95%	100%	98%	・多くの保護者の参加が得られているので、継続して取り組んでいく。
		3	保護者は学校に連絡や相談がしやすいと思っていますか。	(3) 学校に連絡や相談がしやすいと思っている保護者が80%以上である。	○学校や学級・児童の様子を通信で知らせたり、必要に応じて電話や連絡帳などで連絡をとったりしていく。	87%	89%	83%	・関係保護者への連絡を更に迅速に行い、相談しやすい雰囲気づくりに努める。
II 確かな学力	分かる授業	4	児童は、授業が分かり、満足や達成感を味わっていますか。	(4) 「授業がわかる」と答える児童が90%以上である。	○2週間予定をもとに計画的に授業の構想を行い、教師の授業力の向上を図る。 ○体験的な学習や、グループ学習、TT指導などを取り入れ、授業を工夫する。	88%	92%	78%	・担任だけでなく、全職員でマイプリントの指導に入る取り組みを継続し、児童の基礎学力定着を図る。 ・個に応じた指導方法の工夫に力を入れ、少人数指導をさらに充実させる。
		5	児童に、教科等の基礎・基本が確実に身に付いていますか。	(5) 「基礎学力が確実に身に付いている」と答える児童が80%以上である。	○マイプリントや漢字一斉テストの取組など、自ら学ぶ仕組みを徹底していく。	82%	89%	78%	・反復練習などで「できる・できた」という達成感をもてるようにし、子どもの関心意欲を高める。 ・授業のねらいを明確にし、1時間1時間を大切にした授業を行う。
	6	児童の学力を適切に評価し、その結果を生かしていますか。	(6) 「授業で分からなかった時先生は分かるまで教えてくれる」と答える児童が90%以上である。	○繰り返し指導や補充学習など、児童が分かるようにねばり強く指導していく。	88%	97%	88%	・テストなどの結果をもとに、個に応じた指導や補習を行う。	
	学習習慣	7-1	家庭で自主的に学習や読書をする習慣が身に付いていますか。	(7)-1 進んで家庭学習ができていると思う児童が80%以上である。	○「家庭学習のすすめ」に対する保護者の理解を深め、徹底を図る。	76%	86%	73%	・家庭学習をがんばっている子のやり方などを紹介して啓発していく。
7-2		進んで読書ができていると思う保護者が約70%である。	○朝読書や読み聞かせの機会を積極的に活用する。 ○スタンプラリー・読書の記録などを工夫して、読書に親むよう働きかける。 ○図書室事務員とのTT指導を工夫する。	71%	82%	70%	・2学期以降の読書週間やスタンプラリーで子供たちの読書意識を高めていく。		
III 豊かな心	あいさつ・言葉遣い	8	進んであいさつをする児童が育っていますか。	(8) 進んであいさつできる児童が80%以上である。	○「ふれあい週間」で、児童の取組を工夫して、挨拶の態度化を図る。	76%	88%	80%	・活動を継続していきながら、誰に対しても同じようにあいさつができるように指導していく。
		9	時や場・相手に応じた適切な言葉遣いができる児童が育っていますか。	(9) 時や場・相手に応じた適切な言葉遣いができる児童が80%以上である。	○「はい」「…です」「…ます」などを重点化し、正しい言葉遣いができるようにする。	72%	87%	78%	・学級活動や道徳の時間の指導において、適切な言葉遣いのスキル指導をしていく。 ・日常の様々な場面で話し方を身に付けさせるよう、学校全体で指導していく。
	10	児童は、楽しく学校へ通っていますか。	(10) 「学校は楽しい」と答える児童が90%以上いる。	○日頃から、一人一人の個性を認め、安心して自己表現できることの大切さを伝えていく。	91%	96%	83%	・個性を尊重する意識が高まるよう道徳の時間や学級活動の充実を図る。	

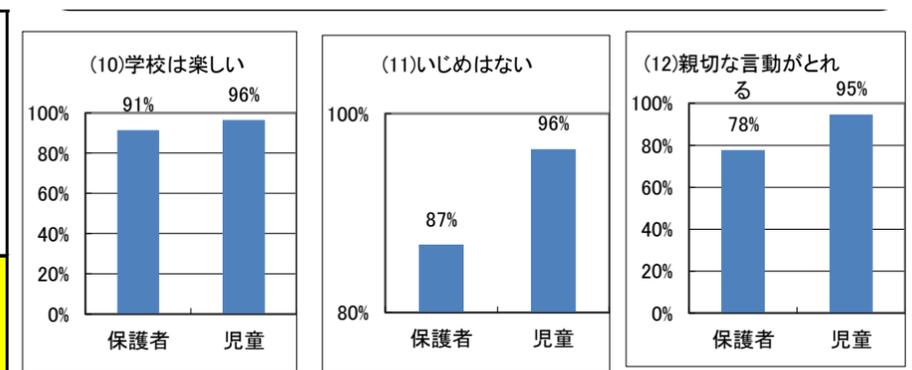
保護者や地域との連携を大切にしたい運営を心がけています。授業参観や運動会などの行事には是非お越しください。また、ご意見やご質問等ある場合には、遠慮なく電話や連絡帳等で連絡をいただきたいと思ひます。

80%を超えていますが、子供たちはまだまだ力を持っています。音読や、その日学んだことの復習など、家庭における補充学習にご協力下さい。

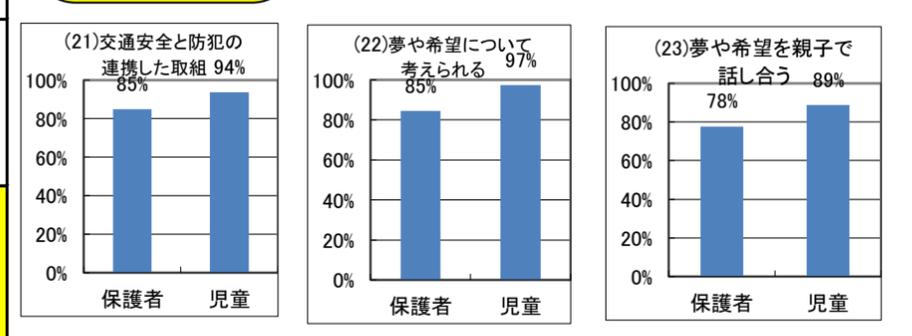
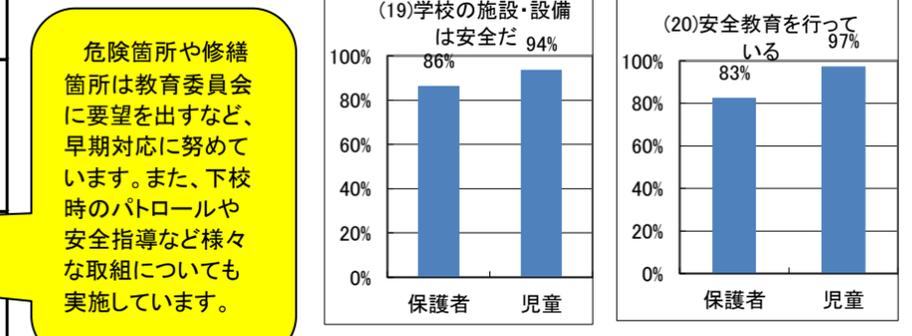
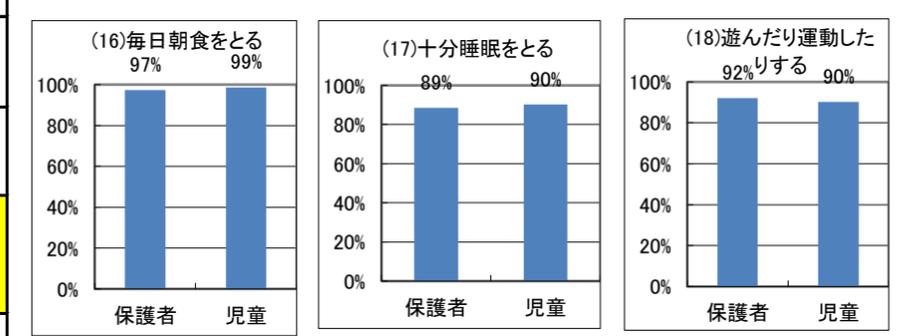
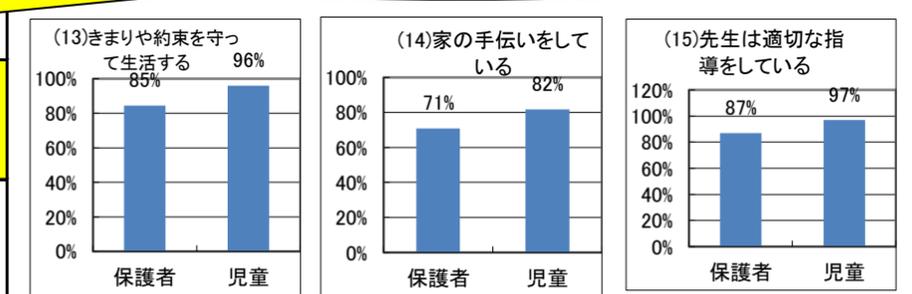


相手を大切にする気持ちと言葉遣いは、よい人間関係をつくる基本となります。社会に出ると、様々な立場、年齢の方がいて、人間関係は非常に複雑です。今から、言葉遣いを丁寧にし、心配りをきちんと行うことが重要になります。まずは「あいさつ」「時や場に応じた正しい言葉遣い」をしっかり身に付けましょう。

いじめのない温かな人間関係	11	いじめのない学校づくりのために取り組んでいますか。	(11)「いじめはない」と答える児童が90%以上いる。	○日頃からいじめ情報を敏感に把握し、組織的に初期対応をしていく。	87%	96%	95%	・生活アンケート等の実施。 ・小さな芽も見逃さない意識で接する。特定の児童へのきつい言葉遣いやちょっとした手出し等、その都度確認し、児童同士の誤解がないようにする。 ・冷やかな言葉遣いや、悪ふざけなどの行動を見かけたら、その場で厳しく指導する。
	12	相手の立場に立ってのことが考えられる児童が育っていますか。	(12)相手の立場や気持ちを考えた親切な言動がとれる児童が90%以上いる。	○人間関係についての実態調査を基に、改善の手立てを見つける。 ○「ルールブック50」を活用し、児童の意識を高める。	78%	95%	75%	・自他の違いやよさを見つける活動を取り入れ、言葉遣いや態度について細かく確認(気がついたその場で)していく。
	13	学校のきまりや約束を守って生活する児童が育っていますか。	(13)学校のきまりや約束を守って生活する児童が90%以上いる。	○学校のきまり「丹生小よい子の生活」の共通理解を図り、重点化して取り組む。	85%	96%	83%	・毎月の自己評価等も取り入れ、継続的に意識できるようにする。
学校や家庭のルール	14	児童は、家族の一員としての役割を持って生活していますか。	(14)進んで家の手伝いをしている児童が80%以上いる。	○家での手伝いを教科等と関連づけて課題にしたり、保護者へ啓発したりする。	71%	82%	80%	・教科等と関連づけて宿題にしたり、保護者への啓発や協力を行ったりする。また、道徳や学級活動の中で児童に指導していく。
	15	各教員は、児童の間違った行動について適切に指導していますか。	(15)「先生は、児童の間違った行動をした時は、適切に指導している」と答える児童が90%以上いる。	○「暴力」や「約束」、「きまり」等については計画的に繰り返し指導するとともに、問題が起きたときには毅然とした態度で対応する。	87%	97%	95%	・児童の社会規範に反する行為、特に、「暴力」「約束」「きまり」については、引き続き重点的に繰り返し指導をする。更に家庭との連携を密に行う。また、道徳や学級活動でも指導していく。
	16	児童は毎日朝食をとって登校していますか。	(16)毎日朝食をとって登校している児童は100%いる。	○個々の児童の実態を把握し、家庭と協力して、個別指導を行う。	97%	99%	95%	・早寝早起きの習慣をつけ、余裕を持った生活ができるようにする。
健康・体力	17	児童は十分睡眠をとって生活していますか。	(17)十分睡眠をとって生活している児童が90%いる。	○個々の児童の実態を把握し、家庭と協力して、個別指導を行う。	89%	90%	83%	・保健や学活の指導を強化する。 ・個別に時間の有効な使い方を指導する。
	18	健康で体力のある体をつくらうとする児童が育っていますか。	(18)進んで遊んだり運動したりしている児童が90%いる。	○業前や業間の時間に、遊んだり運動したりすることを児童に呼びかける。 ○「体力向上プラン」をもとにして、計画的に取り組む。	92%	90%	75%	・火曜日のGo Go Powerful Timeがよい取組になっているので、継続するとともに児童主体の活動になるよう進めていく。
V 安全確保・施設設備	19	学校の施設・設備は安全ですか。	(19)「学校の環境・施設は安全だ」と思う保護者が80%以上である。	○月1回の安全点検を確実に実施し、問題箇所へは早急に対応する。	86%	94%	88%	・ハチの巣や蛇への対応等、早期発見・早期駆除に努める。
	20	交通事故防止、火災・地震・不審者対策など、安全教育の徹底をしていますか。	(20)学校は児童に安全教育を適切に行っていると思う保護者が80%以上である。	○避難訓練を実施し、危機回避能力の育成に努める。 ○廊下を走らないなど、生活安全を徹底する。	83%	97%	80%	・不審者対応の避難訓練、地震を想定した避難訓練が活かせるよう、普段から危険対応意識をもたせる。 ・児童会の活動で校内の安全な生活を呼びかける。
	21	学校・家庭・地域は連携して、交通安全指導や通学路の点検、パトロールを行っていますか。	(21)通学時の交通安全や防犯についての対策を、家庭・地域・学校で連携して取り組んでいると思う保護者が80%以上である。	○登校班ごとに「通学路安全マップ」を作成し、危険箇所の確認・改善を徹底する。	85%	94%	83%	・全家庭を対象に、通学路の危険箇所等について見直しを図る。
VI 進路・生き方	22	自らの将来の夢や希望について考えられる児童が育っていますか。	(22)将来の夢や希望をもったり、自分の生き方を考えたりできるように指導してくれていると思う保護者が80%以上である。	○外部人材を活用しての生き方指導を実施する。	85%	97%	80%	・丹生地域の出身者には様々な分野で活躍されている方が多い。その方々からお話を聞くことで、児童の将来に対するやる気を高めていく。
	23	親子でお子さんの進路について話し合える家庭への働きかけを行っていますか。	(23)「子供のよさや将来への夢や希望について親子で話し合う」と答えた保護者が80%以下である。	○「ぼくの夢、わたしの夢」を活用して、親子で将来の夢や希望について話し合う機会をつくる。	78%	89%	78%	・七夕の願いを中心に親子で話し合う時期を設けている。生活科の学習や4年生の二分の一成人式、6年生の卒業など、発達段階と時期を考慮した対応をしていく。



学校では、係や委員会の仕事に責任をもたせませす。ご家庭ではどうですか？



危険箇所や修繕箇所は教育委員会に要望を出すなど、早期対応に努めています。また、下校時のパトロールや安全指導など様々な取組についても実施しています。

VII	組織運営	教職員マネジメント	24	学校の教育目標の達成に向け、管理職・教職員が一体となって努力していますか。	(24)	学校の教育目標の達成に向け、管理職・教職員が一体となって努力していますと、80%以上が答えている。	○学校の教育目標が、職員会議や校内研修、朝会等で適宜機会を捉えて説明され、職員が学校の教育目標を意識した指導を行うようにする。	88%	・各教科等の主任を中心として職員への報告・連絡・相談を積極的に行っています。 ・教育目標の具現化が図れるよう、学期ごとの反省と今後の方策を示し、職員が共通理解して実践できるようにしています。
			25	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合える職場の人間関係を作っていますか。	(25)	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合える職場の人間関係を、90%以上が答えている。	○ブロック経営の視点をもつことや、他の分掌との連携を図ること、学校行事での全職員の協力体制をつくるなど、他の教職員との連携意識を高めていく。	93%	・教員が問題や不安を一人で抱えることのないよう授業参観や校内巡視を行い、管理職が同じ土俵で考えたり判断したりできるようにします。 ・助言や示唆を受けた場合、その内容も踏まえた具体的な行動をとるように心がけます。
			26	教職員が設定した自己目標の達成に向け、主体的に日常の教育実践に取り組んでいますか。	(26)	教職員が設定した自己目標の達成に向け、主体的に日常の教育実践に取り組んでいると、80%以上が答えている。	○自己目標の具体化について、面談や日常的な話題の中でふれるようにし、意識化が図れるようにする。	88%	・各教員が目標達成できるよう日常的に授業参観及びアドバイスをしています。 ・各教員が、目標達成に向けて努力しています。
			27	職員会議が、校長の経営方針を踏まえた情報交換や課題検討の場として機能していますか。	(27)	職員会議が、校長の経営方針を踏まえた情報交換や課題検討の場として機能していると90%が答えている。	○経営方針との関連化や課題の明確化を図るために、会議内容を担当と管理職が事前に打合せ、会議の効率化を図る。	90%	・事前の資料作成や関係部署と事前に協議し、教頭が会議資料の事前配布を行うことで効率化を図っています。
			28	PDCAサイクルを確立して学校評価を行い、改善策を具体化していますか。	(28)	PDCAサイクルを確立して学校評価を行い、改善策を具体化していると、90%以上が答えている。	○評価委員会がリーダーシップをとりながら、年間計画に沿ってすすめ、改善策を具体化する。	83%	・評価委員会の活性化を図り、分かりやすい評価のまとめを行い、職員が改善策を実践できるようにします。
			29	適材適所を配慮して校務分掌が組織され、機能していますか。	(29)	適材適所を配慮して校務分掌が組織され、機能していると、80%以上が答えている。	○各主任が、リーダーシップをとりながら担当した校務分掌の企画・立案をし、スムーズに行事が実施できるよう職員の協力態勢をつくる。	88%	・担当分掌の資料作成や提案、結果や次年度への記録を整備し、どの職員が担当になってもいいように資料整理しています。
			30	校内服務規律委員会を定期的に開催し、常に教職員の服務規律確保に動めていますか。	(30)	校内服務規律委員会を定期的に開催し、常に教職員の服務規律確保に動いていると、90%以上が答えている。	○校内服務規律委員会を職員会議の中で開催し、服務規律確保にかかわる啓発や、具体的な事例などを各自が提案し、意識の向上を図る。	93%	・内容の発案を当番制として、必ず職員会議の最初に校内服務委員会、危機管理研修会を開催します。
			31	各教科部会等での話し合いで年間指導計画を作成し、理解を促していますか。	(31)	各教科部会等での話し合いで年間指導計画を作成し、理解を促していると、90%以上が答えている。	○年間指導計画の見直しを毎年行っていき、より効果的な計画となるよう改善していく。	75%	・作成していない教科がないよう点検・確認をし、次年度以降のために朱書きを入れて更新していきます。
			32	校内研修は、教師の資質向上と授業改善に結び付いていますか。	(32)	校内研修は、教師の資質向上と授業改善に結び付いていると、80%以上が答えている。	○教師の資質向上と授業改善のために、一人一授業を公開するとともに、その後授業検討会を実施する。	83%	・子ども達に確かな学力が身に付くよう、教職員が互いに切磋琢磨し、視点を絞って議論します。
			34	各種文書・データ等は、分掌や担当ごと適切に管理されていますか。	(34)	各種文書・データ等は、分掌や担当ごと適切に管理されていると、80%以下が答えている。	○各種文書・データ等は、分掌や担当ごと管理方法を明確にして、管理の徹底を図る。	78%	・文書、データの保存期間等を明確にし、必要な物を確実に残すようにします。 ・担当分掌の資料作成や提案、結果や次年度への記録を忘れることなく記録し、次年度に引き継ぎます。
			36	教育活動の必要な場面で、地域の教育力を効果的に活用していますか。	(36)	教育活動の必要な場面で、地域の教育力を効果的に活用していると、80%が答えている。	○「ボランティアの年間活用計画」等を、計画的・効果的に活用する。	80%	・ご協力いただいた様子などを学校便り等に掲載し、家庭や地域にお知らせします。また、行事によっては新たな地域の協力者を募り、授業における個別指導を充実させます。